

## CIMB グループホールディングス(CIMB)

2017/12 期 1H は 2 桁増収増益、通期も大幅増益の見通し

## マレーシア|銀行|業績レビュー

BLOOMBERG CIMB:MK | REUTERS CIMB.KL

- 2017/12 期 1H (1-6 月) は、営業収益が前年同期比 13.9%増の 86.87 億 MYR、税引前利益が同 31.8%増の 30.47 億 MYR、純利益は同 35.3%増の 22.82 億 MYR となった。年率換算の ROE は 9.4%。
- 6 月末の貸出残高や預金残高は何れも前年同期比 1 桁台後半の増加となった。また、個人向け銀行業務は好調に推移した。
- 通期の市場予想は、当期純利益が同 27.7%増の 45.52 億 MYR である。

## What is the news?

2017/12 期 1H は、営業収益が前年同期比 13.9%増の 86.87 億 MYR、資金利益が同 13.1%増の 61.64 億 MYR、非資金利益は同 15.9%増の 25.24 億 MYR。税引前利益が同 31.8%増の 30.47 億 MYR、純利益は同 35.3%増の 22.82 億 MYR となった。経費が同 7.8%増の 45.59 億 MYR と営業収益の伸びに比べ抑制され、ローンの減損処理は同 0.3%増の 10.57 億 MYR に留まったことなどが利益を押し上げた。貸出残高は住宅ローンが同 12.3%増の 841 億 MYR となるなど同 8.2%増の 3,192 億 MYR、預金残高は個人が同 18.2%増の 1,644 億 MYR と高い伸びを示し同 9.6%増の 3,489 億 MYR となった。預貸率(貸出金の預金に対する比率)は 92.4%と前年同期の 93.5%から改善。不良債権比率は 3.2%と前年同期比横ばいの推移。

セグメント別の税引前利益は、税引前利益の構成比が 39%を占める主力の個人向け銀行業務は営業収益が 2 桁増収となり、タイで利益が大幅に拡大し、マレーシアも増益となったが、インドネシアで大幅な減益。貸倒引当金も増え同 0.4%減の 11.96 億 MYR となった。商業銀行業務では主力のマレーシアで増益となったが引当金の増加で利益の伸びが抑えられ同 2.9%増の 2.46 億 MYR。ホールセール銀行業務は、インドネシアやタイで黒字転換し、引当金繰入額が減少し同 76.9%増の 12.38 億 MYR である。同業務の内訳は、コーポレート・バンキングが同 2.2 倍の 7.87 億 MYR、トレジャリー&マーケット(債券)は同 20.9%増の 4.40 億 MYR となった。アセット・マネジメント業務は同 35.8%減の 88 百万 MYR、グループ・ファンディングは同 8 倍の 2.79 億 MYR と大幅な増益となった。

## How do we view this?

2017/12 通期の会社見通しは、貸出の伸びが続き、コストコントロールの継続や引当金の抑制などを背景に楽観的である。マレーシアやインドネシアの個人向け銀行業務の堅調な伸びが見込まれ、ホールセール銀行業務や商業銀行業務での収益拡大も見込んでいる。通期の会社計画は、ROE9.5%(2017/12 期 1H 実績 9.9%)、配当性向 40-60%(同 52%)、貸出残高伸び率 7.0%(同 8.2%) などとなっている。通期の市場予想は、当期利益が同 27.7%増の 45.52 億 MYR である。

## 業績推移

※参考レート 1MYR=26.54円

事業年度	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12F	2018/12F
売上高(百万MYR)	21,596	23,900	24,904	17,039	17,896
純利益(百万MYR)	3,106	2,849	3,564	4,552	5,116
EPS(MYR)	0.38	0.34	0.41	0.50	0.55
PER(倍)	16.68	18.65	15.46	12.68	11.53
BPS(MYR)	4.44	4.81	5.11	5.37	5.64
PBR(倍)	1.43	1.32	1.24	1.18	1.12
配当(MYR)	0.15	0.14	0.20	0.23	0.25
配当利回り(%)	2.37	2.21	3.15	3.63	3.94

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

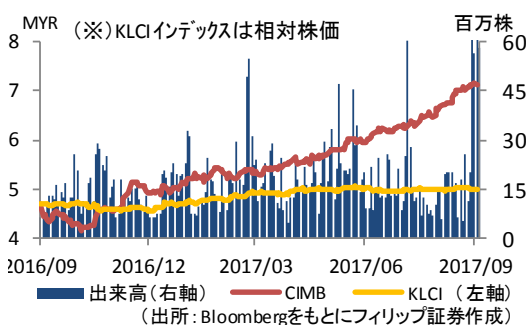
配当予想(MYR) **0.23** (予想はBloomberg)  
 終値(MYR) **6.34** 2017/9/26

## 会社概要

1924年創業で、マレーシアのトップの一角を占め、世界のイスラム金融でもトップクラスの商業銀行である。アセアンでは第5位の規模を誇り、様々な金融商品およびサービスを提供する。主な業務は、コーポレートバンキング、投資銀行業、リテール銀行業、トレジャリー、保険、資産管理などである。約38,000人のスタッフを抱え、アセアンのほか中国、香港、インド、スリランカ、韓国や米国、英国など15カ国で展開。900を超える支店などネットワークにより1,200万を超える顧客にサービスを提供している。

## 企業データ(2017/9/26)

ベータ値 **#####**  
 時価総額(百万MYR) **#####**  
 3ヵ月平均売買代金(百万MYR) **#####**



## 主要株主(2017/9)

株主	(%)
1.Khazanah Nasional	28.14
2.Employees Provident Fund Board	13.16
3.Kumpulan Wang Persaraan	5.72

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

## アナリスト

袁鳴  
 ming.yuan@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 0707  
 庵原 浩樹  
 hiroki.i.hara@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 袁 鳴

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。